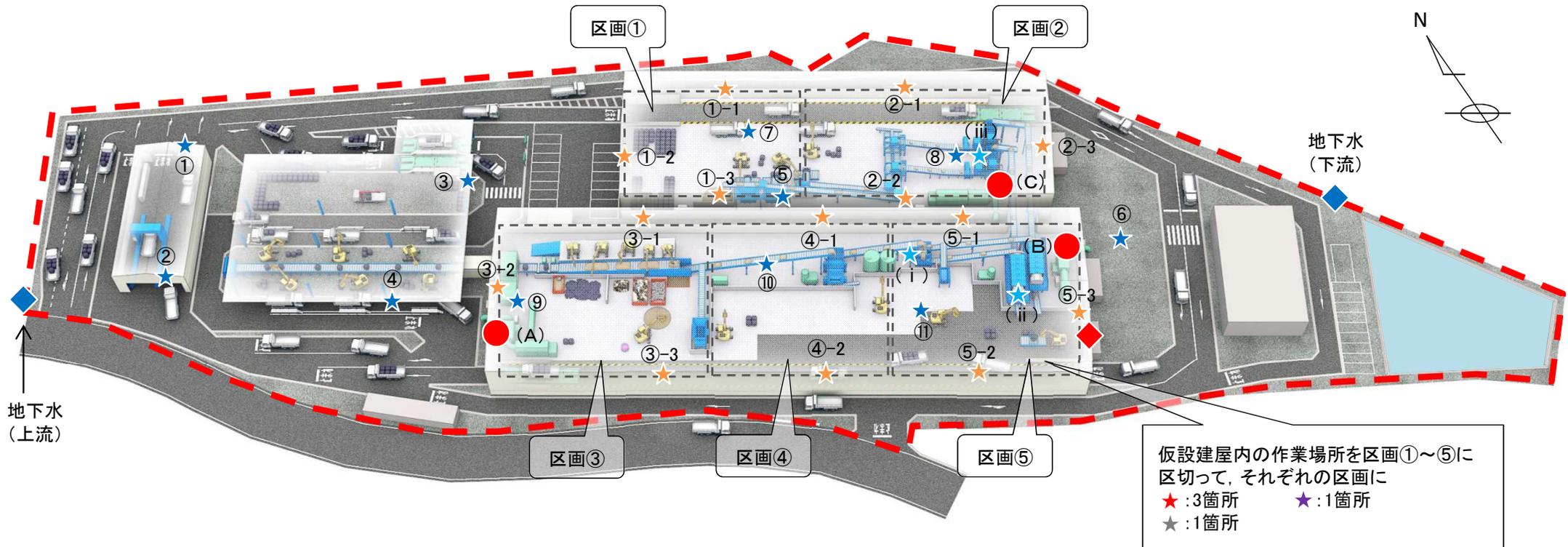


# 受入・分別施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



凡例		
◆ : 地下水中の放射能濃度等	● : 排気中の放射能濃度	◆ : 排水中の放射能濃度
★ : 粉じん濃度	★ : 空間線量率(作業環境)	★ : 空気中の放射能濃度
★ : 表面汚染密度(床)	★ : 表面汚染密度(壁)	★ : 表面汚染密度(設備)
--- : 敷地境界線		

# 受入・分別施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年3月

## ◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2019/3/7	(稼働後)	13	4.9	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2019/3/7	(稼働後)	14	9.9	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/3/8 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

## ◆ 排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## ★ 粉じん濃度

測定地点	2019/3/8 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	0.2
①-2	0.2
①-3	0.3
②-1	0.4
②-2	0.4
②-3	0.5
③-1	1.9
③-2	1.2
③-3	1.2
④-1	0.5
④-2	0.6
④-3	0.6
⑤-1	0.6
⑤-2	0.7
⑤-3	0.7

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★ 空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/3/14 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.25
②	0.27
③	0.35
④	0.21
⑤	0.40
⑥	0.26
⑦	1.33
⑧	0.22
⑨	0.19
⑩	0.26
⑪	0.28

## ★ 空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/14 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2019/3/14 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	設備	(i) 改質設備
(ii) 二次分別設備		ND
(iii) 濃度測定設備		ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年2月

## ◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2019/2/7	(稼働後)	12	4.8	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2019/2/7	(稼働後)	12	9.7	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/2/8 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

## ◆ 排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/2/22	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★ 粉じん濃度

測定地点	2019/2/7 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	0.2
①-2	0.3
①-3	0.3
②-1	0.3
②-2	0.2
②-3	0.2
③-1	0.7
③-2	1.1
③-3	1.2
④-1	1.2
④-2	1.6
④-3	1.6
⑤-1	1.1
⑤-2	1.1
⑤-3	0.8

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★ 空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/2/15 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.21
②	0.21
③	0.29
④	0.17
⑤	0.24
⑥	0.25
⑦	0.84
⑧	0.16
⑨	0.14
⑩	0.15
⑪	0.18

## ★ 空気中の放射能濃度

測定地点	2019/2/15 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/2/15 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	設備	(i) 改質設備
(ii) 二次分別設備		ND
(iii) 濃度測定設備		ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年1月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2019/1/10	(稼働後)	12	4.6	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2019/1/10	(稼働後)	14	9.1	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≦ 1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/1/11 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≦ 1

## ◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/1/8	(稼働後)	ND

土壌貯蔵施設の浸出水処理施設で処理。

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≦ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/1/10,11 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	1.5
①-2	2.0
①-3	1.9
②-1	2.0
②-2	1.8
②-3	1.9
③-1	1.6
③-2	1.1
③-3	1.0
④-1	1.7
④-2	1.8
④-3	1.9
⑤-1	1.8
⑤-2	1.4
⑤-3	1.2

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/1/18 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.22
②	0.25
③	0.24
④	0.23
⑤	0.21
⑥	0.24
⑦	0.74
⑧	0.21
⑨	0.15
⑩	0.18
⑪	0.23

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/1/18 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≦ 1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2019/1/18 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	設備	(i) 改質設備
(ii) 二次分別設備		ND
(iii) 濃度測定設備		ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年12月

## ◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2018/12/6	(稼働後)	12	4.5	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2018/12/6	(稼働後)	12	8.8	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≦ 1

## ● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/12/7 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部： 1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部： 1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≦ 1

## ◆ 排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/12/11	(稼働後)	ND

土壌貯蔵施設の浸出水処理施設で処理。

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≦ 1

## ★ 粉じん濃度

測定地点	2018/12/7 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	0.7
①-2	0.7
①-3	0.7
②-1	0.7
②-2	0.6
②-3	0.7
③-1	0.7
③-2	0.5
③-3	0.7
④-1	1.0
④-2	1.0
④-3	0.9
⑤-1	1.3
⑤-2	1.3
⑤-3	1.3

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★ 空間線量率 (作業環境)

測定地点	2018/12/14 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.18
②	0.24
③	0.29
④	0.24
⑤	0.19
⑥	0.20
⑦	0.53
⑧	0.15
⑨	0.14
⑩	0.15
⑪	0.18

## ★ 空気中の放射能濃度

測定地点	2018/12/14 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137： 5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup> ≦ 1

## 表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2018/12/14 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
⑤-3	ND	
設備	(i) 改質設備	ND
	(ii) 二次分別設備	ND
	(iii) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年11月

## ◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2018/11/1	(稼働後)			
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2018/11/1	(稼働後)			

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≦ 1

## ● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/11/2 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≦ 1

## ◆ 排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## ★ 粉じん濃度

測定地点	2018/11/2 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	0.9
①-2	0.9
①-3	1.0
②-1	1.7
②-2	2.1
②-3	1.6
③-1	1.5
③-2	2.2
③-3	3.9
④-1	4.1
④-2	3.2
④-3	5.8
⑤-1	3.8
⑤-2	3.8
⑤-3	4.6

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★ 空間線量率 (作業環境)

測定地点	2018/11/14 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.24
②	0.26
③	0.22
④	0.24
⑤	0.27
⑥	0.23
⑦	0.48
⑧	0.19
⑨	0.15
⑩	0.20
⑪	0.20

## ★ 空気中の放射能濃度

測定地点	2018/11/14 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≦ 1

## 表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/11/14 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	設備	(i) 改質設備
(ii) 二次分別設備		ND
(iii) 濃度測定設備		ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年10月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2018/10/4	(稼働後)	11	4.7	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2018/10/4	(稼働後)	13	8.9	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/10/5 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/10/11	(稼働後)	ND

土壌貯蔵施設の浸出水処理施設で処理。

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/10/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	0.8
①-2	1.2
①-3	1.2
②-1	1.0
②-2	1.1
②-3	1.1
③-1	2.4
③-2	3.3
③-3	4.1
④-1	2.6
④-2	3.0
④-3	4.3
⑤-1	3.2
⑤-2	3.1
⑤-3	2.3

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/10/26 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.23
②	0.28
③	0.24
④	0.21
⑤	0.24
⑥	0.28
⑦	0.67
⑧	0.19
⑨	0.15
⑩	0.19
⑪	0.23

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/10/26 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/10/26 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
⑤-3	ND	
設備	(i) 改質設備	ND
	(ii) 二次分別設備	ND
	(iii) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年9月

## ◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2018/9/6	(稼働後)	12	4.5	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2018/9/6	(稼働後)	12	8.4	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≦ 1

## ● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/9/7 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部： 1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部： 1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≦ 1

## ◆ 排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## ★ 粉じん濃度

測定地点	2018/9/7 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	1.3
①-2	1.6
①-3	1.6
②-1	1.5
②-2	1.3
②-3	1.3
③-1	2.6
③-2	4.0
③-3	4.9
④-1	5.4
④-2	4.8
④-3	4.8
⑤-1	3.5
⑤-2	3.5
⑤-3	2.8

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★ 空間線量率 (作業環境)

測定地点	2018/9/14 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.24
②	0.25
③	0.20
④	0.22
⑤	0.21
⑥	0.24
⑦	0.57
⑧	0.17
⑨	0.12
⑩	0.18
⑪	0.17

## ★ 空気中の放射能濃度

測定地点	2018/9/14 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137： 5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≦ 1

## 表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2018/9/14 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	設備	(i) 改質設備
(ii) 二次分別設備		ND
(iii) 濃度測定設備		ND

表面汚染密度検出下限値： 0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年8月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2018/8/2	(稼働後)	12	5.1	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2018/8/2	(稼働後)	12	9.0	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/8/2 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/8/10	(稼働後)	ND

土壌貯蔵施設の浸出水処理施設で処理。

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/8/1 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	0.6
①-2	0.6
①-3	0.6
②-1	0.6
②-2	0.7
②-3	0.8
③-1	2.3
③-2	2.5
③-3	2.7
④-1	3.9
④-2	3.3
④-3	2.9
⑤-1	4.5
⑤-2	4.5
⑤-3	3.8

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/8/29 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.24
②	0.26
③	0.41
④	0.26
⑤	0.26
⑥	0.25
⑦	0.78
⑧	0.20
⑨	0.16
⑩	0.17
⑪	0.21

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/8/29 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/8/29 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	設備	(i) 改質設備
(ii) 二次分別設備		ND
(iii) 濃度測定設備		ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年7月

## ◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2018/7/5	(稼働後)			
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2018/7/5	(稼働後)			

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/7/6
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

## ◆ 排水中の放射能濃度

測定項目		放射能濃度
測定日		(Bq/L)
2018/7/27	(稼働後)	ND

土壌貯蔵施設の浸出水処理施設で処理。

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★ 粉じん濃度

測定地点	2018/7/5
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	0.6
①-2	0.7
①-3	0.8
②-1	1.3
②-2	1.3
②-3	1.2
③-1	2.3
③-2	2.8
③-3	2.4
④-1	0.6
④-2	0.4
④-3	0.4
⑤-1	0.2
⑤-2	0.1
⑤-3	0.1

定量下限値：0.1 mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10 mg/m<sup>3</sup>

## ★ 空間線量率 (作業環境)

測定地点	2018/7/13
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.26
②	0.27
③	0.31
④	0.31
⑤	0.22
⑥	0.32
⑦	0.26
⑧	0.13
⑨	0.17
⑩	0.15
⑪	0.24

## ★ 空気中の放射能濃度

測定地点	2018/7/13
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 × 10<sup>-7</sup> Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 × 10<sup>-7</sup> Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/7/13	
	表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
⑤-3	ND	
設備	(i) 改質設備	ND
	(ii) 二次分別設備	ND
	(iii) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40 Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年6月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND
	2018/6/7	(稼働後)	12	5.1	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	11	7.2	ND
	2018/6/7	(稼働後)	12	7.6	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/6/8 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/6/8 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	0.9
①-2	1.1
①-3	1.1
②-1	1.0
②-2	1.0
②-3	1.1
③-1	0.9
③-2	1.4
③-3	1.6
④-1	1.9
④-2	1.5
④-3	1.6
⑤-1	1.4
⑤-2	1.3
⑤-3	1.4

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/6/28 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.26
②	0.27
③	0.27
④	0.26
⑤	0.23
⑥	0.35
⑦	0.41
⑧	0.20
⑨	0.16
⑩	0.20
⑪	0.25

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/6/26 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/6/28 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	設備	(i)改質設備
(ii)二次分別設備		ND
(iii)濃度測定設備		ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年5月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2017/7/7 (稼働前)	12	5.1	ND
	2018/5/10 (稼働後)	12	5.0	ND
下流	2017/7/7 (稼働前)	11	7.2	ND
	2018/5/10 (稼働後)	12	7.8	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/5/11 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/5/11 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	0.9
①-2	0.9
①-3	1.2
②-1	1.9
②-2	1.4
②-3	1.4
③-1	3.0
③-2	2.6
③-3	2.7
④-1	2.0
④-2	2.7
④-3	1.9
⑤-1	1.8
⑤-2	1.8
⑤-3	1.8

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/5/29 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.23
②	0.24
③	0.25
④	0.22
⑤	0.20
⑥	0.34
⑦	0.60
⑧	0.18
⑨	0.16
⑩	0.18
⑪	0.21

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/5/29 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/5/29 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	設備	(i)改質設備
(ii)二次分別設備		ND
(iii)濃度測定設備		ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年4月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/7/7 (稼働前)		12	5.1	ND
	2018/4/5 (稼働後)		12	4.7	ND
下流	2017/7/7 (稼働前)		11	7.2	ND
	2018/4/5 (稼働後)		11	6.9	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/4/6 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/4/5,6 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	0.4
①-2	1.0
①-3	1.3
②-1	1.7
②-2	2.8
②-3	2.8
③-1	1.7
③-2	1.7
③-3	1.5
④-1	1.3
④-2	1.5
④-3	1.5
⑤-1	1.0
⑤-2	1.1
⑤-3	2.9

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

測定結果は、デジタル粉じん計の値から後日取得した区画ごとの換算係数により算出した。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/4/26 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.30
②	0.27
③	0.24
④	0.30
⑤	0.20
⑥	0.40
⑦	0.38
⑧	0.15
⑨	0.16
⑩	0.15
⑪	0.23

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/4/25 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/4/26 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	設備	(i)改質設備
(ii)二次分別設備		ND
(iii)濃度測定設備		ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>